

地学国際研究チームによる津波被災地でアナワット研究員が案内しました(2011/10/19)

10月19日(水)、本学理学研究科の大谷栄治教授が招いた地学専門の海外研究者を主なメンバーとなる研究チームが、今回の津波被災地を視察し、当センターのアナワット研究員が現地案内を行いました。研究チームは、アルフレッド・P・スローン財団(Alfred P. Sloan Foundation)、ロックフェラー大学(Rockefeller University)、フランス海洋研究機関(Institute of Oceanographic, France)、カリブ地域実施委員会(Caribbean Regional Implementation Committee)、国際研究推進委員会(International Scientific Steering Committee)のといったメンバーからなります。当日は、仙台空港(名取市)、名取市関上、仙台市荒浜、仙台港(仙台市若林区)、浪分神社(仙台市若林区)を案内し、今回の大震災の津波の被害状況メカニズムや津波による被害などの概略についても紹介された。



現地視察メンバー



現地視察の様子